

## 介護サービスに携わる方々へ 「指差し会話帳」の使い方

### 目的：

言葉が通じないので介護サービスを利用できないという帰国者が多いようです。少しでも介護者と利用者お互いの意思の疎通がスムーズにいくよう、日中対訳の「指差し会話帳（訪問介護編/デイサービス編）」を作成しました。

### 使い方：

必要な場面のページを選び、日本語で話しかけながら中国語部分を指差します。帰国者（利用者）からの返答が必要な場合は、答えの選択肢部分を示してください。黄色の部分はヘルパー（サービス提供者）等から帰国者（利用者）への話しかけであり、緑の部分は帰国者（利用者）からヘルパー（サービス提供者）等への返答やリクエストです。実際には、言葉やジェスチャーによるやり取りがメインとなり、会話帳は補助的なものとなるでしょう。

介護されることに慣れてきて、どんなことをするのがわかってくれば、ほとんどのことはジェスチャーで通じますし、会話帳も要らなくなってくると思いますが、信頼関係ができるまでの“つなぎ”として利用していただければと思います。帰国者の中には中国／ロシア語の読み書きができなかったり苦手だったりという方もいるので、前もって家族や支援通訳の人にこの会話帳の利用は可能か確認しておいた方がよいでしょう。

黄色い部分の中国語には片仮名で読み方を示しました。中国語を片仮名で表すのはとても難しく、通じないことも多いかもしれませんが、下手な中国語だったり聞き取れない中国語だったりしても、日本人スタッフががんばって中国語で話しかけようとしている姿勢は下手な中国語もご愛嬌で、帰国者には好意的に受け止められるのではないかと思います。※ロシア語の片仮名表記についてはしばらくお待ち下さい。

緑の部分の日本語は平仮名にしました。これは決して帰国者に日本語を学んで話せるようになることを期待するものではありませんが、なかには、これくらいはできれば日本語で話したいという帰国者の方もいらっしゃるかと思います、平仮名にしてみました。

## ★訪問介護 編

(ヘルパー→利用者)

主として、居宅介護で来たヘルパーが、何をするのかを利用者に伝えるために使うものです。

場面 (目次) :

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 初回訪問時挨拶／次回からの挨拶 |                      |
| 2. 調理              | 10. トイレ介護            |
| 3. 食事              | 11. 通院介護             |
| 4. 買い物             | 12. 薬受け取り            |
| 5. 入浴介護 1          | 13. その他              |
| 6. 入浴介護 2 風呂場にて    | 14. 排泄介護・おむつ交換       |
| 7. 入浴介護 3 体拭き・着替え  | 15. 褥瘡がある場合／清拭がある場合  |
| 8. 掃除              | 16. 介護保険法は一定の規制があります |
| 9. 洗濯              |                      |

~~~~~

## ★デイサービス 編

(利用者→職員/ヘルパー)

「する/しない」、「食べる/食べない」はジェスチャーでも伝えられますが、それだけでなく、利用者が職員に自分の気持ちを少しでも伝えたい時に使うものです。

場面 (目次) :

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 体調不良の訴え     | 4. 入浴 |
| 2. レクリエーション・体操 | 5. 送迎 |
| 3. 食事          | 6. 外出 |

~~~~~

実際に日本語が不自由な中国／サハリン帰国者と接している皆さまにこの「指差し会話帳」を使っていただき、「こんな表現があったら便利」というようなアイデアを含め、いろいろとご意見をいただくことができれば大変ありがたく存じます。いただいたご意見をもとに今後も検討を重ね、介護の現場で役立つものにしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひ致します。